

平成 28 年度事業報告

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日まで

一般財団法人國學院大學院友会

一般財団法人國學院大學院友会 平成 28 年度事業報告

平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

□平成 28 年度は、一般財団法人への移行後 4 年目、本会発足 129 周年の年である。6 月には定款に基づき任期満了による評議員の改選、及び理事・監事の改選を行った。また、4 月に発生した「熊本地震」に対して、特に被害の大きかった熊本県・大分県の両支部へお見舞金をお贈りした。

公益事業も各支部積極的に取り組んだ。こうした公益的な本部支部の活動も継続しながら、明年度の本会発足 130 周年事業の準備をおこなった。

◇ 事業実施報告

I 【育成事業】

國學院大學の同窓会組織として、母校の発展と後輩たちの支援活動は必要不可欠なものである。我が国の将来を担う若者たちへの支援について、継続性をもって積極的に取り組むものである。

1) 國學院大學学生等支援

①「学術・スポーツ振興資金」制度による支援〔継続実施〕／平成 28 年度、29 年度の対象団体として。

イ：学術部門 … 母校所蔵の貴重資料デジタル化に 100,000 円を支援した。

ロ：スポーツ部門 … 硬式野球部・陸上競技部(長距離部門)・柔道部に各 700,000 円を支援。(増額)

新たに、母校第二強化部会で好成績を修めた卓球部・ソフトテニス部・スキー部の 3 団体に、各 300,000 円を支援した。

・5 月 21 日(土)の院友大会席上で夫々に目録を贈呈。 計 3,100,000 円

・平成 28 年度寄付金額 2,510,500 円 509 件 / 期末残高 10,409,545 円

・同規程の「施行細則」を一部改正した。

②「司法試験奨学金」制度による支援

・母校法科大学院もその募集停止を決定しているため、関係部署とも相談の上支援を検討したが、本年度の該当者はいなかった。

③教職を目指す学生の支援

・「学習指導要領」を小学校・中学校・高等学校それぞれの教員を志す学生に贈呈した。〔継続実施〕

・渋谷キャンパス／小学校学習指導要領 100 冊、中学校学習指導要領解説総則編 100 冊、高等学校学習指導要領解説総則編 100 冊、生徒指導提要 100 冊。… 計 400 冊

・たまプラーザキャンパス／小学校学習指導要領解説総則編 110 冊、中学校学習指導要領解説総則編 120 冊、中学校学習指導要領解説保健体育編 90 冊、高等学校学習指導要領解説保健体育編 90 冊。… 計 410 冊
合計 810 冊 181,000 円

④「國學院大學キャリア講座」(マナー編、法律編)の開催〔継続実施〕

・内 容：母校キャリアサポート課と連携して、新たに社会人となる学生達へ、必要なマナーや労働法の基礎知識等を学ぶ講座を開催した。マナー編では、会食マナーも実践した。

・講 師：イ：ライフプラン・法律編／巴 由梨(ともえ・ゆり)氏／キャリアコンサルタント

ロ：マナー編／村上侑美枝(むらかみ・ゆみえ/正会員)氏／総合マナーコンサルタント

・日 時：イ：平成 29 年 1 月 11 日(水) 12:50～14:20/14:30～16:00 /46 名参加

ロ：平成 29 年 1 月 18 日(水) 12:50～14:20/14:30～16:00 /42 名参加

・会 場：院友会館

・受講料：無料(諸経費は本会で負担) ・共 催：國學院大學

⑤「院友会長賞」による支援〔継続実施〕… 学生の部

・卓球部、ソフトテニス部、スキー部に会長賞を贈呈。各副賞 100,000 円

⑥球場や、競技場、試合場、応援席などに掲げる旗や幟、横断幕などの貸し出しを行った。〔継続実施〕

(野球や陸上だけでなく支部総会や講演会でも貸出)

⑦大学と連携して、学生の就職支援活動 〔継続実施〕

・本部や全国各支部・部会、職域会等が一体となって、Uターンや就職の支援、アドバイス、情報提供などの支援体制、その呼びかけなどをおこなった。具体的な事例はなかった。

⑧日本の伝統文化体験支援〔継続実施〕

・國學院大學留学生に日本の伝統文化等体験、学びを支援。大学が実施した留学生体験支援「K-STEP」を援助。

- ・平成28年4月9日(土)14名の留学生在本会館の3階和室において、茶道体験をおこなった。
- ・平成28年10月8日(土)10名の留学生在本会館の3階和室において、茶道体験をおこなった。

2) 会館施設の貸与、又は経費の補助

- ・公益また育成事業に該当する学生の会館利用の際の施設の貸与、経費の補助を行った。〔継続実施〕
- ・施設提供支援事業費 3,900,196円 / 177件

3) 全国の高校生を対象とした文化事業支援

①「第20回全国高校生創作コンテスト」に協力支援〔継続実施〕

- ・主催：國學院大學、高校生新聞社(共催)
- ・協賛：本会、若木育成会
- ・後援：文部科学省 他

②「第12回地域の伝承文化に学ぶコンテスト」への協力支援〔継続実施〕

- ・主催：國學院大學、高校生新聞社(共催)
- ・協賛：本会、若木育成会、國學院大學北海道短期大学部
- ・後援：農林水産省、全国高等学校校長協会 他

II【講座・講演会事業】

豊かな人間形成を目的に、「我が国の発展を将来に期するためには、日本の歴史・民族性に基づくものでなければならぬ」という母校の建学の精神を基に、日本の伝統文化を後世に伝える役目を本法人は担うと考える。これを基軸としたさまざまな事業を通じて、社会貢献に取り組んだ。

①『風土記を読む(第1期)』の開催〔新規実施〕

- ・講師：中村啓信氏(國學院大學名誉教授)
- ・日時：5月18日、6月15日、7月6日、9月7日、10月5日、11月9日、12月7日、
平成29年1月18日、2月8日、3月8日 全10回開催。 毎水曜日 13:30~15:00
- ・会場：院友会館3階 大会議室/受講生 57名

②『源氏物語講座(第10期)』の開催〔継続実施〕～常夏(とこなつ)・篝火(かがりび)・野分(のわき)の巻を読む～

- ・講師：針本正行氏(國學院大學副学長・文学部教授・本会副会長)
- ・日時：4月11日、5月9日、6月13日、7月11日、8月8日、10月3日、11月14日、
12月12日、平成29年1月16日、3月20日(変更)全10回。 毎月曜日 13:30~15:00
- ・会場：院友会館3階 大会議室/受講生 18名

③『万葉集への招待(第2期)』の開催〔継続実施〕

- ・講師：城崎陽子氏(國學院大學文学部兼任講師)
- ・日時：5月31日、6月28日、7月26日、9月27日、10月25日、11月29日、12月20日、
平成29年1月31日、2月28日、3月28日 全10回。 毎火曜日 15:00~16:30
- ・会場：院友会館3階 大会議室/受講生 36名

④院友学術振興会公開講座『國學院の古典』(第20回)の開催〔継続実施〕

- ・内容：國學院大學で学位を得た先生方の会で、協力団体でもある院友学術振興会との共催講座。古事記・万葉集・源氏物語・中国文学・国語学・神道学など、國學院が培ってきた学問を基に、幅広く多彩な分野から講義を行った。共催事業として実施。
- ・日時：平成29年1月10日(火)~14日(土)の5日間/①13:00~14:30 ②14:50~16:20
- ・会場：院友会館3階 大会議室
- ・定員：各75名 ・のべ795名受講 / 後援：國學院大學

平成28年1月10日/古事記	山崎かおり氏	91名/万葉集	城崎 陽子氏	95名
11日/万葉集	倉住 薫氏	84名/源氏物語	秋澤 瓦氏	89名
12日/中国文学	松田 稔氏	104名/古事記	菅野 雅雄氏	117名
13日/国語学	浅川 哲也氏	48名/古事記	小林 真美氏	49名
16日/神道学	中道 豪一氏	59名/源氏物語	林田 孝和氏	59名

⑤生活芸術講座の開催〔継続実施〕/一般社団法人儀礼文化学会との共催講座。

- ・儀礼文化において、生活を基盤とし伝統的特色を有する分野を「生活芸術」と位置付け、その文化的芸術的価値として「美」を考えていく講座。今年度は、儀礼文化学会創立35周年記念特別講座。

イ：内容：礼法—小笠原流『おる・むすぶ—祝いの儀礼』—

- ・講師：小笠原清忠氏 (小笠原教場宗家・弓馬術礼法小笠原流宗家)
- ・日時：平成28年7月3日(日) 14:00~16:00
- ・会場：院友会館3階大会議室/受講生 61名

口：内 容：くらしの民俗 - 『縄文土器カタチとココロ』

- ・講 師：小林達雄氏（國學院大學名誉教授、新潟県立歴史博物館名誉館長）
- ・日 時：平成 28 年 10 月 16 日（日） 14：00～16：00
- ・会 場：院友会館 3 階大会議室／受講生 45 名

⑥ 《平成 28 年度院友大会》一般公開講演会の開催〔継続実施〕

- ・講 師：小林達雄氏（國學院大學名誉教授、新潟県立歴史博物館名誉館長）
- ・演 題：『基層文化としての縄文』
- ・日 時：平成 28 年 5 月 21 日（土）17:00～18:00
- ・会 場：グランドプリンスホテル新高輪「飛天」
- ・入場料：無料 一般公開／聴講者 450 名

⑦ 東日本大震災被災地支援事業〔平成 26 年度実施〕

- ・被災地域における伝統文化や伝統芸能の再興、心の復興のため、支部活動の支援を行うものであるが、今年度は、対象となる計画・申請を見ることができなかった。

⑧ 「公益事業実施規程」に基づき、統一テーマを設けて公益的な講演会やさまざまな事業を、支部と共に地域で実施した。今年度は 9 支部が実施した。〔継続実施／一部新規実施〕 何れも一般公開・無料

- ・統一テーマ「もっと日本を学ぼう」

(1) 神奈川県支部文化講演会

『「人間開発」の入育てとは ～「修理固成」（古事記）の人づくり～』

- ・講 師 新富康央氏（國學院大學人間開発学部長・教授）
- ・日 時 平成 28 年 6 月 18 日（土） 15:00 ～ 17:00
- ・会 場 鶴岡八幡宮 直会殿 ・来場者 100 名

(2) 埼玉県南支部文化講演会

『神話と考古学』

- ・講 師 梶山林継氏（國學院大學名誉教授）
- 『神道の近代と現代』
- ・講 師 阪本是丸氏（國學院大學神道文化学教授）
- ・日 時 平成 28 年 6 月 18 日（土） 14:00 ～ 16:00
- ・会 場 蕨市民会館 ・来場者 67 名

(3) 福井県支部文化講演会

『日本の礼と心』

- ・講 師 小笠原清忠氏（小笠原教場宗家・弓馬術礼法小笠原流宗家）
- ・日 時 平成 28 年 7 月 1 日（金） 18:00 ～ 19:00
- ・会 場 ホテルフジタ福井 ・来場者 100 名

(4) 島根県支部文化講演会

『島根の伝説 - 隠岐伝説、橋架けから国引きを考える -』

- ・講 師 花部英雄氏（國學院大學文学部教授）
- ・日 時 平成 28 年 7 月 23 日（土） 16:00 ～ 18:00
- ・会 場 ニューウエルシティ出雲 ・来場者 40 名

(5) 沖縄県支部文化講演会

『スポーツキャスターが見た沖縄のスポーツ』

- ・講 師 土方 浄氏（琉球放送アナウンサー）
- ・日 時 平成 28 年 7 月 24 日（日） 16:00 ～ 18:00
- ・会 場 パシフィックホテル沖縄 ・来場者 50 名

(6) 石川県支部文化講演会

『道徳教育を考える』

- ・講 師 田沼茂紀氏（國學院大學人間開発学教授）
- ・パネリスト／北村嘉章氏（小松市教育委員）、野根茂治氏（加賀市 PTA 連合会副会長）、櫻井定宗氏（本宮幼稚園理事長）、山下裕嗣氏（加賀市教育委員）
- ・日 時 平成 28 年 8 月 20 日（土） 14:00 ～ 16:30
- ・会 場 ホテルサンルート小松 ・来場者 30 名

(7) 鳥取県支部文化講演会

『憶良は何を語りたかったのか』

- ・講師 土佐秀里氏（國學院大學文学部准教授）
- ・日時 平成28年8月27日（土） 13:30 ～ 15:30
- ・会場 ホテルセントパレス倉吉 ・来場者 70名

(8) 静岡県中部支部文化講演会

『静岡（ふるさと）をいかに創るか』

- ・基調講演会講師 石井研士氏（國學院大學神道文化学部教授／副学長）
- ・シンポジウム／石井研士氏、中山正典氏（静岡県民俗学会理事）、川村美智氏（静岡市女性会館館長）、太田順一氏（菊川市長）、司会進行・天野忍氏（支部長）
- ・日時 平成28年9月3日（土） 13:45 ～ 16:30
- ・会場 静岡商工会議所静岡事務所会館 ・来場者 55名

(9) 静岡県西部支部文化講演会

『豊臣政権の構造的特質と徳川家』

- ・講師 矢部健太郎氏（國學院大學文学部教授）
- ・日時 平成28年11月19日（土） 13:00 ～ 17:00
- ・会場 えんてつホール ・来場者 140名

⑨ 國學院大學・國學院大學院友会連携講座〔継続実施〕

- ・大学の関係部署と相談をおこなったが、連携講座を実施するには至らなかった。関係部署とは今後も相談を重ねることとした。

⑩ サロン・コンサートの開催〔継続実施〕

(1) 第16回 サロン・コンサート「～青い空、白い雲、美しいビーチ、ハワイアンミュージックの魅力～」

- ・演奏 ナレオ・オカピート&フラガールズ
ウクレレギター：カルロス川北／ベース：有瀧敬之／ボーカル・ギター：浅井竜介

- ・日時 平成28年7月23日（土） 14:30 ～ 16:00
- ・会場 院友会館 1階ロビー ・来場者 168名

(2) 第17回 サロン・コンサート「間近で感じるハーブ&フルートの魅力 ～優雅で可憐な冬の贈り物～」

- ・演奏 ハーブ 原 日向子／フルート 世古美月
- ・日時 平成28年12月3日（土） 14:00 ～ 15:30
- ・会場 院友会館 1階ロビー ・来場者 97名

(3) 第18回 サロン・コンサート「日本の春、笑顔の春 ～元気をみんなに届けよう～」

- ・演奏 二胡 酒井和嘉子／ソプラノ 藤田貴子／ピアノ 野口杏梨
- ・日時 平成29年3月18日（土） 14:00 ～ 15:30
- ・会場 院友会館 1階ロビー ・来場者 105名

III【会館施設提供事業】

本法人は、広く地域の方々にも有効活用していただける「院友会館」を有することから、この施設が地域の方々の交流の場となり、それをきっかけにさらに地域が活性化するよう、取り組んだ。

- ・地域社会の健全な発展を目的とする会館利用への施設の貸与、又は経費の補助を実施した。〔継続実施〕
- ・地域活動の活性化など、社会貢献を根底に、近隣・学校等を対象とするもの。
- ・補助金額 538,920円 28件（会館施設提供事業）

IV【特定寄付】

学校法人國學院大學への学生奨学資金、及び実施する社会貢献事業、大規模災害での被災地学生支援等への寄付を引続き実施した。

1) 國學院大學への協力

- ①大規模災害学費減免制度への支援〔継続実施〕…引き続き、被災在学生の支援として、國學院大學で進めている支援制度への指定寄付を行った。… 2,000,000円
- ②國學院大學が進めている学生等への支援事業、その他全国の高校生対象の文化事業への寄付〔継続実施〕… 800,000円

V【同窓会事業】

会報発行発送事業及び編集発行については、より親しめる読みやすい紙面を提供した。住所判明者全員に送付した。会員統括組織化事業では、本部支部の情報交換、特に公益事業等に関する事、学生支援に関する事、事務的な事、等も含めて支部長会議を開催。院友大会では、全国銘酒飲み比べ・東日本編を実施。明年度の本会130周年で、秋に院友大会とホームカミングデーを同日開催する方向を告知した。新年院友交歓会も、学術・スポーツ振興資金支援団体の応援を中心に、院友の団結を強化した。同窓会共通事業として、

支部物産展や会館を利用した催しなど、ホームカミングデーで充実させた。

1) 会報発行発送事業

① 《院友会報》の編集発行 … 第363号、第364号、第365号を編集発行した。〔継続実施〕

(1) 「363号」…残暑見舞号/8月15日付、8月中旬発送。(法人役員改選のため、発行時期を例年より若干遅くした。)

- ・会報作製 全16面/91,250部/1,292,976円(税込)/@14.16円
- ・会報発送 85,839件/ 発送費用(郵券、ラッピング等含む) 5,066,583円(税込)
- ・支部経由 茨城県支部 3,206件/発送費用 262,892円
- ・プレゼント企画を実施した。〔継続実施〕 … 大学オリジナル箸:計15名に贈呈した。

(2) 「364号」…新年号/1月1日付、12月中旬発送。

- ・会報作製 全16面/91,330部/1,302,000円(税込)/@14.25円
- ・会報発送 89,013件/ 発送費用(郵券、ラッピング等含む) 5,243,733円(税込)
- ・プレゼント企画を実施した。… 大学オリジナルラベル・日本酒、焼酎、ワイン:計30名に贈呈した。

(3) 「365号」…新院友歓迎号/3月19日付、3月下旬発送。

- ・会報作製 全16面/96,300部/1,346,851円(税込)/@13.98円
- ・会報発送 85,256件/ 発送費用(郵券、ラッピング等含む) 5,032,785円(税込)
- ・支部経由 茨城県支部 3,191件/発送費用 261,662円
- ・プレゼント企画を実施した。… 大学オリジナルポンチョ:計10名に贈呈。

2) 会員統括組織化事業

(1) 《支部長会議:通算第36回》の開催〔継続実施〕

- ・日 時:5月21日(土/院友大会と同日)13:30~16:00
- ・会 場:グランドプリンスホテル新高輪「平安」
- ・備 考:支部長と事務局代表者、計2名を全国各支部から招聘。59支部・4協力団体中、57支部・4協力団体から、109名が参加。

一般財団法人への移行後、特に具体的事務・会計処理などの説明や意見交換、「支部運営費」等の事務的事項等の説明徹底を図った。各支部での公益目的事業実施に向けて、説明を行った。学生支援のための意見交換、ホームカミングデーへの幅広い参加を促した。

(2) 《平成28年度 院友大会》の開催〔継続実施〕

- ・日 時:5月21日(土) 一般公開講演会 17:00~18:00/大会 18:00~20:00
- ・会 場:グランドプリンスホテル新高輪「飛天」
- ・会 費:10,000円/但し、第124期生(新院友)~第122期生までは3,000円
/家族割引 1人目5,000円/2人目から1人につき3,000円
- ・大学若手職員と院友との交流促進を支援する。学生諸団体の活動を紹介する場を設ける。
- ・全国銘酒飲み比べ企画(東日本編)等を実施した。
- ・485名参加。

(3) 《新年院友交歓会》の開催〔継続実施〕

- ・日 時:平成29年1月21日(土)17:00~18:55
- ・会 場:院友会館地下大ホール
- ・会 費:6,000円/同伴ご家族無料
- ・出席者:161名

*学術・スポーツ振興資金支援6団体の監督や選手を招き、激励と交流を実施。また参加者全員参加で新年大福引大会を実施した。

(4) 熊本県支部、大分県支部への地震お見舞金の贈呈について

- ・平成28年4月14日に発生した「熊本地震」に際して、特に大きな被害を被った熊本県支部、大分県支部に支部活動の一助となるように、お見舞金をお贈りすることが、第15回理事会で決定、その後の支部長会議において目録を贈呈し、6月下旬に送金した。 / 熊本県支部 500,000円、大分県支部 300,000円

(5) 本会公式ホームページの活用 → <http://www.kokugakuin.or.jp>〔継続実施〕

- ・母校・学生・各支部や院友情報の発信及び会館の宣伝・広報等、充実を図った。97項目を更新。
- ・データの暗号化(SSL)に対応し、情報セキュリティに万全を期した。

(6) 院友会員のデータ管理

- ・個人情報保護法・本会の個人情報に関する取り扱い諸規程を遵守した対応を行った。〔継続実施〕
- ・院友会報、ホームページでの異動情報提供等呼びかけた。〔継続実施〕
- ・大学と連携して、卒業生の住所調査を行った。〔継続実施〕

(7) 各支部総会等への出席

- ・本部から役職員が参加し、情報交換や交流を行った。〔継続実施〕
- ・同窓会事業 支部・部会 68件 総出席者数 1,865名/協力団体2件/他5件

(8) 院友の交流 / 院友会ゴルフクラブコンペへの支援を行った。〔継続実施〕

- ・第63回コンペ/9月7日(水) / 富士平原ゴルフクラブ 35名参加。
- ・第64回コンペ/3月15日(水) / カメリアヒルズカントリークラブ 29名参加。

(9) その他/記念品の作製。〔継続実施〕

- ・支部総会参加者や会館利用者、来館者への記念品として、院友会名入りボールペン(のし箱入り)を、3,000本作製した。(ユニボールAir)

3) 同窓会共通事業

(1) 「院友会長賞」の贈呈

- ・学術、スポーツ、社会貢献などの各分野において、母校の名声を高めた顕著な活動を称えた。〔継続実施〕
…院友の部/野本寛一氏(のもと・かんいち/67文/平成27年度文化功労者)と石原奈央子氏(いしはら・なおこ/106神専攻/リオ五輪・クレール射撃女子スキート日本代表)の2名に、院友大会席上にて贈呈した。/各副賞 100,000円

(2) 協力団体「院友学術振興会」との協力連携を通して学術の振興に寄与。

- ・本会の協力団体であり、母校で学位を得た方々の会である「院友学術振興会」の活動を支援した。
- ・100,000円の特別支援実施。(論文集「新國學」編集発行等。) 〔継続実施〕

(3) 新卒業生への記念品贈呈〔継続実施〕

- ・母校・若木育成会・本会の三者共催で卒業記念品(学報縮刷版)を作製し、送付した。

(4) 大学への協力

- ①「院友子弟等特別選考入学試験制度」の宣伝・広報等を行った。(会報第363号、支部総会等で) 〔継続実施〕

- ②大学実施の「神職養成講習会」への協力〔継続実施〕

- ・夏期は、「第135回」の講習会では、36名の研修に協力した。
- ・冬期は、「第136回」の講習会では、27名の研修に協力した。

- ③大学ホームカミングデー / 10月15日(土・渋谷キャンパス/たまプラーザキャンパス)開催に向けて協力。〔継続実施〕

- ・院友の参加促進を図り、支部物産展開催を支援、物産展は11支部が協力した。
北海道道東支部、北海道道央支部、青森県支部、岩手県支部、福島県浜通り支部、福島県中通り支部、栃木県支部、千葉県支部、埼玉県北支部、石川県支部、熊本県支部
- ・明年度の本会発足130周年に向けて、院友大会との合同開催等、さまざまな方向性について検討を重ねた。

(5) 院友の図書 整理分類他

- ・大学図書館や図書館学講座学生等の協力を得ながら、院友の寄贈図書の整理分類を行っている。〔継続実施〕
- ・基本台帳の作製、整理などを継続して実施した。
- ・平成28年度 寄贈図書 57冊

(6) 協力団体との連携

- ・院友経済会、マスコミ院友会、院友学術振興会、法学部OB・OG会の協力4団体のうち、院友学術振興会と共同事業を実施した。公開講座「國學院の古典」 〔継続実施〕

(7) 電報サービスの実施〔継続実施〕

- ・結婚9件、叙勲・褒章・当選・就任、等、慶事への祝電等を54通贈った。

(8) 会費・寄付金等納入状況

- ・年度会費 5,376,000円 1,794件 : 一般会員
- ・十年会費 6,440,000円 322件 : 一般会員
- ・十年会費 49,000,000円 2,450件 : 代理徴収分 124期生分
- ・入会金 26,870,000円 2,687件 : 代理徴収分 124期生他(正会員等含む)
- ・維持寄付金 3,156,200円 320件
- ・基本財産寄付金 33,902円 3件

(9) 会費等について、協力依頼

- ①取纏め実施支部…北海道道北支部、北海道道東支部、北海道道南支部、岩手県支部、宮城県支部、福島県浜通り支部、福島県中通り支部、福島県会津支部、茨城県支部、埼玉県西部支部、東京都南多摩支部、新潟県支部、福井県支部、山梨県支部、静岡県東部支部、静岡県中部支部、滋賀県支部、大阪府支部、兵庫県支部、の19支部。

- ②神社…寒川神社、鶴岡八幡宮。

(10) 研修等の実施 / 職員の研修。業務関係の研修等に参加した。〔新規実施〕

- ・9月14日(水):一般法人会計入門セミナー/中里部長、坂本書記補、参加。
- ・11月25日(金):マイナンバーセミナー/川津次長、参加。
- ・平成29年3月3日(金):源泉所得税セミナー/川津次長、参加。

VI【収益事業】

① 近隣企業、学内、及び地域の会館利用に対して、サービスの充実につとめた。〔継続実施〕

- ・会館事業収益合計 35,115,059円

VII【法人事業】

・平成27年度 監査

日時 平成28年5月2日(月) / 10:00~

場所 院友会館 小会議室において

出席監事 寺澤悠監事、小林英夫監事による会計監査。

日時 平成28年5月6日(金) / 10:00~

出席監事 角川賢二監事による業務監査。

・平成28年度 上半期監査

日時 平成28年12月7日(水) / 10:00~

場所 院友会館 小会議室において

出席監事 寺澤悠監事、小林英夫監事による会計監査。角川賢二監事による業務監査。

・平成28年度は、定款に基き任期満了による評議員と理事・監事の改選を行なった。

(1) 顧問・参与との意見交換会

・「顧問・参与意見交換会」(通算第18回)を院友会館で開催予定であったが、日程が合わず、開催せず。

(2) 業務執行理事連絡会議

・諸事業の実施等に向けて、業務執行理事が連絡会議を開催した。

・平成28年5月9日(月) 15:00から。院友会館役員室

・平成28年10月11日(火) 10:00から。院友会館役員室

・平成28年12月13日(火) 14:00から。院友会館役員室

・平成29年3月14日(火) 14:30から。院友会館役員室

(3) 評議員会の開催

・第5回定時評議員会 平成28年6月23日(水) 13:34~15:18 / 出席評議員20名(28名中)

(4) 理事会の開催

・第15回理事会 平成28年5月16日(月) 14:04~15:25 / 出席理事17名(25名中)・監事2名(3名中)

・第16回理事会 平成28年6月23日(水) 15:30~15:52 / 出席理事21名(26名中)・監事3名(3名中)

・第17回理事会 平成28年12月13日(水) 14:03~15:30 / 出席理事18名(26名中)・監事3名(3名中)

・第18回理事会 平成29年3月23日(木) 14:30~15:36 / 出席理事22名(26名中)・監事3名(3名中)

VIII【その他 共通事項】

(1) 設備の補修・改修 / 会館の維持運営に必要な補修改修を実施した。

・修理・補修の実施。/ 地下1階動力盤機器更新工事、4階男女トイレ及び周辺部ひび割れ補修工事、給水ポンプ付設圧力タンク交換工事、汚水ポンプ用配管漏水改修工事、誘導灯交換工事、等実施した。

(2) 危機管理など

・防災計画等を基に、日常での防災管理の徹底を図った。

・館内災害時備蓄品の更新を実施した。保存食・保存水は6年保存のもの。150セット(50人×3日分)備蓄。

・衛生管理の徹底。/ 専任職員・臨時職員(アルバイト)や関係者の日常の意識高揚と発生時対応の徹底を図った。

(インフルエンザ、ノロウイルス、食中毒等)

以上

附属明細書

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成いたしません。

一般財団法人國學院大學院友会

以上